

**製品名: MST3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe04008**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:49 kDa;Observed MW: 49 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	STK24
別名	MST3; STK3; MST3B; STE20; HEL-S-95
遺伝子 ID	8428.0
SwissProt ID	Q9Y6E0
免疫原	ヒト MST3 の合成ペプチド

**背景**

セリン/スレオニンタンパク質キナーゼは、セリン残基とスレオニン残基の両方に作用し、ストレス刺激およびカスパーゼ活性化に応

答してアポトーシスを促進します。酸化ストレス時に JNK1-JNK2 ( MAPK8 および MAPK9 )、p38 (MAPK11、MAPK12、MAPK13、および MAPK14) のリン酸化を調節することにより、酸化ストレス誘発性細胞死を媒介します。AIFM1 および ENDOG の核移行、ならびに ENDOG に関連する DNase 活性を調節することにより、スタウロスポリン誘導性カスパーゼ非依存性アポトーシス経路において役割を果たします。STK38L の「Thr-442」をリン酸化して、そのキナーゼ活性を刺激します。STK26 と連携して、RHO 活性化に伴う極性細胞遊走におけるゴルジ体再配向を負に制御する (PubMed:27807006) 。また、PTPN12 活性および PXN リン酸化を変化させながら細胞遊走を制御する。PTPN12 をリン酸化してその活性を阻害し、PTPN12 を介して PXN リン酸化を制御する可能性がある。視神経および橈骨神経における軸索再生の重要な制御因子として作用する可能性がある。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ

MST3 抗体を使用した HeLa 溶解物中の MST3 のウエスタン ブロット分析。

